

令和元年度  
学校関係者評価報告書

令和2年6月

富山市立富山ガラス造形研究所

学校関係者評価委員会

# 富山市立富山ガラス造形研究所

## 学校関係評価報告書 令和元年度版について

令和2年4月より高等教無償化制度が創設され、一定の基準を満たす大学等に在籍する学生を対象に給付型奨学金や授業料等の減免措置が行われることになりました。

この制度を実施できる大学等として確認を受ける機関要件の基準の一つに「学校関係者評価の実施・結果の公表」があります。

学校関係者評価とは、教職員が学校の目標・計画等に沿った取り組みの達成状況などについて評価した自己評価の結果及び今後の改善方策について、学校関係者が評価し、運営改善のための助言を行うことを目的とするものです。

これを受けて、本年4月1日に「富山市立富山ガラス造形研究所学校関係者評価委員会」が設置され、私達が委員として委嘱されたところです。

今回、令和元年3月に「富山市立富山ガラス造形研究所学校評価委員会」が作成した学校自己評価報告書（令和元年度版）を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

令和2年6月

### 富山市立富山ガラス造形研究所学校関係者評価委員会

#### <委員>（五十音順）

- 砂田 友和（富山市企画管理部次長）
- 長島 美穂（マイルストーンアートワークス代表）
- 畠山 耕造（富山市ガラス美術館学芸専門官）
- 前田 善一（一般財団法人富山市ガラス工芸センター専務理事）
- 吉田 薫（ガラス工芸作家）

## 目次（点検項目一覧）

### ■基準1 教育理念・目的・育成人材像等

点検項目【1-01】	理念・目的・育成人材像は定められているか	1
点検項目【1-02】	学校の特色は何か	1
点検項目【1-03】	学校の将来構想を抱いているか	3

### ■基準2 学校運営

点検項目【2-04】	運営方針は定められているか	5
点検項目【2-05】	事業計画は定められているか	6
点検項目【2-06】	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	6
点検項目【2-07】	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	7
点検項目【2-08】	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	7

### ■基準3 教育活動

点検項目【3-09】	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	8
点検項目【3-10】	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	8
点検項目【3-11】	カリキュラムは体系的に編成されているか	9
点検項目【3-12】	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	10
点検項目【3-13】	授業評価の実施・評価体制はあるか	10
点検項目【3-14】	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	11
点検項目【3-15】	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	11
点検項目【3-16】	地域社会との連携や地域性を活かした教育活動が行われているか	12

### ■基準4 教育成果

点検項目【4-17】	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	12
点検項目【4-18】	退学率の低減が図られているか	13
点検項目【4-19】	卒業生・在学生の社会的な活躍、評価を把握しているか	14

### ■基準5 学生支援

点検項目【5-20】	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	14
点検項目【5-21】	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	14

点検項目【5-22】	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	15
点検項目【5-23】	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	16
点検項目【5-24】	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	16
点検項目【5-25】	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	17
点検項目【5-26】	保護者と適切に連携しているか	17
点検項目【5-27】	卒業生への支援体制はあるか	17
点検項目【5-28】	留学支援や海外との提携による国際教育交流の体制はあるか	18

## ■基準6 教育環境

点検項目【6-29】	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	19
点検項目【6-30】	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	19
点検項目【6-31】	防災に対する体制は整備されているか	20

## ■基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-32】	学生募集活動は、適正に行われているか	20
点検項目【7-33】	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	21
点検項目【7-34】	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	21
点検項目【7-35】	学納金は妥当なものとなっているか	22

## ■基準8 法令等の遵守

点検項目【8-36】	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	22
点検項目【8-37】	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	22
点検項目【8-38】	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	23
点検項目【8-39】	自己点検・自己評価結果の公開をしているか	23

## ■基準9 社会貢献

点検項目【9-40】	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	23
点検項目【9-41】	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	24

# 1. 教育理念・目的・育成人材像等

## 【1-1】理念・目的・育成人材像は定められているか

○ 開校以来、30年余り経過しているが、ブレない教育目標とともに一貫した理念に基づいて運営されている。成果として卒業生は数々の受賞歴を持つ個性豊かな作家として育ち、ガラス界の中核的な位置づけで活躍している。

○ 定められている。

現在、研究所ではガラス造形に係る、高い専門知識、個性的で優れた技能習得が実践されている。また、様々な制作、情報発信活動が新たなガラス文化を根付かせ、ひいては地場産業の育成にも多大な寄与をしている。

また、学校生活の中で、ガラス造形製作者として、今後どのような社会貢献ができるのか、といった事を話し合える貴重な機会となっている。

○ 理念・目的・育成人材像については、開校時からのものと思われるが、いずれも簡にして要を得た表現で高く評価できる。また、地域との関連性も当初からはっきりしていて、ガラス工房による側面からの雇用もあり、地域に定着する卒業生が100人内外であるのは富山市にとって誇るべきことであると考える。

○ 明確な理念のもと、人材育成が図られている点は評価できる。

○ 適切に定められている。

## 【1-2】学校の特徴はなにか

○ 開校当時からガラス専門教育機関として注目を集めている。

ガラス造形の修得には不足のない制作学習環境が整えられた施設であり、ガラス造形作家として国内外で評価の高い優秀な教育指導者や外国人教師がラインナップされている。

なお、公立ということで授業料も低くおさえられている。

#### ■教育環境として

1) 立地：富山市郊外・呉羽丘陵の自然に囲まれ、学習に適した環境である。

市が運営するガラス工房（見学・体験、ショップ）やレンタル工房と隣接し、また卒業生が作家活動している個人工房が集まるエリア「ガラスの里」として、進路の参考となるシーンにあふれている。

2) 指導・教育：国内外から優れたガラス技術を持つ表現者（アーティスト）が集結され、カリキュラムごとに質の高い指導・教育にあたっている。また、基礎教育部門（平面・立体など）やガラス加工知識・技術の修得としてジュエリー、金属造形などの選択教科、空間を捉えるための学習や資料に欠かせない写真撮影の技術なども指導されている。

3) 年間行事：海外から招聘した作家による春夏のワークショップやアーティスト・イン・レジデンス事業、様々な分野の作家や美術関係者を招いた特別講義なども実施され、交流の機会としても広がりがある。

4) 設備機器：制作から加工まで表現に必要な大小様々な設備機器（ガラス炉、電気炉、カット・研磨加工など）が十分に整えられている。

- 5) 宿舎・アパート：敷地内に隣接した学生宿舎、近隣には民間アパートがあり、通学しやすい環境である。
- 6) 富山市ガラス美術館：市内にガラス美術館が開館し、常設・企画展によりガラス界の動向や見解を深めることができる。近年は美術館において卒業制作展が開催され、中心市街地という立地と複合施設としての図書館とフロアーを共有していることで、よりたくさんの市民や県内外からの観光客が来館し、ガラス作品を知ってもらえる利点がある。
- 7) 留学および進学：アメリカやオーストラリアなどのガラス関係機関との交換留学制度やワークショップへの参加、また大学への編入が可能である。
- 少人数制であり、かつ多彩な特色を持っており、個々の姿勢にもよるが十分に学ぶことができる。
  - 当初、公立のガラス研究所は珍しく、外国人専門教師による指導など、その特色は大いに評価できる。
  - 「少人数制」は、高度な技術と卓越した表現力を身に着けるための特徴的な教育体制と捉えることができる。

### 【1 - 3】学校の将来構想を抱いているか

- 開校当初はガラス専門教育機関として先駆的な存在であり、入学には狭き門ではあったが、時代とともに主要都市や国内の美術大学のガラスコース開設、またガラス専門機関が増加したことで選択枠が広がり入学志願者が下降してきたようである。

る。近年はどここの教育機関も少子化による運営に頭を悩ませる時代となり、今後の将来構想を見据える重大な時期に入ってきているように思う。

開校から30年余り経過し、現在のガラス界の中核を担う卒業生の数は相当なものとなっている。プロフィールに記載される富山ガラス造形研究所卒という一行の重みを評価したい。今後もガラス史に残る作家の育成と専門高等教育の先端を担ってほしい。

個性豊かなガラス造形作家を育てていくという目標を貫く姿勢の継続を応援したい。

近年の学生の傾向として感じることは、やはり多様性。魅力あるガラスではあるが制作には専門機器や高額な設備費用が必要となる。レンタル工房を利用し作家活動ができる環境も整備され、卒業後もガラス制作に携われるという点では育成率が高いのではないと思われる。ガラスのもつ素材・質感、ボリューム感、そして表現……。かつての「これぞ、ガラス」という作品志向から多様な表現への移行も感じるころでもある。自分が表現したいことのためのガラス素材というような、素材をガラスでおきかえるとか、別素材と融合させた科学的作品などなど、さまざまな展開が見られる。学んだガラスの魅力をどう活用表現するか、より広い意味をもたせる作品傾向が感じられる。ガラス作家として位置づけの枠を超えたアーティスト指向と言えるかもしれない。



揃ってしまっているガラス専門機関との差別化、どこに焦点を合わせていくかが今後の課題だろうと思う。他との差別化を考慮した、より特化したガラス専門教育機関としての将来像も考えられるのではないか。

○ 抱いている。

学生の将来を考え、専門学校として認可を受けており、引き続き多様化した学生ニーズの負託に応じた学習整備が必要である。

○ 設立から 30 年近く経過しており、将来構想も検討を要する時期に来ていると思われる。

○ 将来構想を踏まえた教育活動が行われている。

## 2. 学校運営

### 【2 - 4】 運営方針は定められているか

○ 定められている。

○ 適切に定められている。

○ 運営方針は、その時々<sup>1</sup>の社会状況や前年度の募集実績などをもとに、きめ細かに対応していく必要があると思われる。また、市長や担当部署の責任者に対しても、説得力のある根拠が必要と思われる。開校時から 30 年経って、社会状況は著しく変化し、応募者数も減少傾向にある中で、運営方針の策定はますます困難で重要な仕事になっていくのではないか。

- 教職員に周知するとともに確認も必要と思われる。
- 適切に定められている。

#### 【2 - 5】 事業計画は定められているか

- 年度の事業計画は、年間行事計画を踏まえ、全職員によって素案から検討・調整後、予定表が作成されている。
- 適切に定められている。
- 年度途中での検討も必要と思われる。
- 適切に定められている。

#### 【2 - 6】 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

- 市が定める規則に基づき、効率的にすすめられている。

開校当初より設けられている運営委員会は年1回開催され、理念・目的・育人材像などの基本的計画の検証や教育活動の状況報告と質疑応答の機会を設けられている。

また委員からの意見等は事業・運営計画に反映するよう努められている。

- 効率的なものとなっている。

研究所外部の委員による評価委員会も設置されるなど、将来を見据えた研究所運営の改善が期待される。

- 本年度から「働き方改革」に伴う就業体系の見直しがなされたようであるが、今まで土日もうまく活用して「実技」「座学」を振り分けていた研究所にとっては、これはなかなか実施が難しいかもしれない。

- 組織運営にあたっては、時間短縮や柔軟性も重要である。
- 効率的に行われている。

#### 【2 - 7】 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

- 市が定める規則に基づき、整備されている。
- 適切に整備されている。
- 国内の教職員は市の就業規則に基づけばいいが、ここにきて、海外講師の給与体系に問題が生じてきている。開校時の1991年には、日本はまだバブルの余波にひたっていて、円も強かったが、続く'失われた20年'の間に、円の価値が減少したため、当初のようにはいかなくなっているのではないか（特にチェコの講師）。欧米の経済事情を考慮しながら、算定していく必要があると思われる。
- 市に準じた取り扱いとなっている。
- 整備されている。

#### 【2 - 8】 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

- 効率化が図られている。今後は時代に沿ったシステム化も必要となるだろう。  
今回のコロナ影響下ではリモート学習・リモートワーク機能の必要性が浮き彫りとなったようである。実習が主流となる教育体制ではあるが、柔軟な対応が可能なりモート機能の整備の充実も図っていかなければならない時代と言えるだろう。
- 適切に効率化が図られている。
- 特に問題はありません。
- 学生のデータ管理に十分留意する必要がある。

- 効率化が図られている。

### 3. 教育活動

**【3 - 9】** 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

- 方向付けされている。
- カリキュラムはガラスの技術面だけでなく、基本的造形、専門講義、また独立後必要となる金属加工もあり、全体としてバランスが取れており、正しく方向付けされている。
- 大枠での「専門的知識」と「技能」という目標設定は当然のことであるが、時々刻々と変化する社会情勢を見る時、30年間、同じ目標を掲げるのはマンネリを招くことにならないだろうか。10年に一度くらいは、TIGA にしかない「独自の」「新しい」専門的知識や「技能」を掲げて、応募者を募っていかないと、どんどん応募数が減少してしまうように思われる。
- 様々な点を考慮したカリキュラム概要を作成していることは評価できる。
- 正しく方向付けられている。

**【3 - 10】** 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

- 同専門機関の中では、レベルの高い教育指導者が揃えられていると評価している。

入学当初はガラス造形の経験の有無や経験年数によって学生個人差が生じる場合も起こり得るが、教師や助手の個別指導が行き届いており、退学者がほとんどいない。また指導における学生の評価も高い。

- 研究所の教員以外に作家を講師として招き、指導されるなど、明確に定められている。

- この点でも、「独自性」と「新しさ」を兼ねそろえた教授陣を揃えておかないと、TIGA の魅力というのは伝えにくい。常に国内外のガラス界の動向を見守りながら、新しい人材の調査を続けていかななくてはならない。この点で、世界のガラス界の調査を行っているガラス美術館やガラス工房と連携して、調査を行っていけば良いのではないか。

- 個人にあった目標値を設定することが肝要と思われる。

- 有能な教員による指導によって、学習目標への到達度は適切に管理されている。

### 【3 - 11】カリキュラムは体系的に編成されているか

- 造形科・研究科ともに2年という短い教育期間の中で、学科・学年別に必修・選択科目など、体系的に編成されている。

- 体系的に編成されている。

今後とも時代の変化に応じて対応すべきである。

- 特に問題はありません。

- 柔軟な対応が図られていることは評価できる。
- 体系的に編成されている。

**【3 - 12】 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか**

- 適正な位置付けが成されている。  
造形科1年…基礎理論及び基礎的な技法を学習  
造形科2年…自主的な創造活動を養うための科目  
研究科1年2年…各自が設定した専攻テーマと学習計画に基づいた学習
- 選択科目になっているものも、独立後、必要となる場合もある。
- 特に問題はありません。
- 場合によっては、年度途中の見直しも必要である。
- 適正な位置づけが行われている。

**【3 - 13】 授業評価の実施・評価体制はあるか**

- 学期（前期・後期）ごとに成績会議および講評会が実施されている。  
講評会は外部の美術関係者（美術館・大学など）を招き、異なる視点より幅広い意見をいただいている。
- 整っている
- 特に問題はありません。
- 評価体制は整っていると思われる。
- 評価体制が設けられ、評価が適正に実施されてる。

**【3 - 14】 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか**

- 確保されている。

採用にあたっては公式 HP などから広域的に募集案内を行ない、公正な審査を経て優秀な指導者を選定されている。

- 確保されている。

多彩な講師による講義を受講できる機会も多い。

- この辺りも、美術館と連携して行っていけばいいのではないかと（守秘義務に抵触しない範囲で）。

- 多様な指導者が確保されていると思われる。

- 有能な教員が確保されている。

**【3 - 15】 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか**

- 明確になっている。

評価基準は学則に明記され、学生便覧等で記載、配布されている。

また、公式 HP には「成績評価における客観的な指標」「富山ガラス造形研究所卒業の認定に関する方針」として公表されている。

- 明確になっている。

- 特に問題はありません。

- 具体的に明確になっていると思われる。

- 基準は明確となっている。

### 【3 - 16】 地域社会との連携や地域性を活かした教育活動が行われているか

- 年間行事では、国内外の作家を招いての「春夏のワークショップ」、海外アーティストを招聘した「アーティスト・イン・レジデンス」などが期間実施されており、期間中には一般市民が参加可能な公開制作や公開講座が開催されるなど地域社会との連携に取り組んでいる。

ガラス美術館企画の「ジブリの大博覧会」においてはスタジオジブリと共同で学生や教員がガラス作品を制作し、来館者へガラス専門教育機関としての存在を知っていただける機会となっている。

- 行われている。

富山市にガラス文化を定着、発展させていくためにも、市民によってガラス文化が支えられていると認知する機会を設けることは重要である。

- 特に問題はありません。
- ワークショップなどが一般公開されているが、さらなる地域社会との連携の在り方等を検討する必要がある。
- 地域社会との連携や地域性を活かした教育活動が行われている。

## 4. 教育成果

### 【4 - 17】 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られている

- 卒業後の進路として作家活動を目指す学生が多く、就職率を上げるというよりも進学希望やアルバイトをしながらの制作活動を選択する、また、就職枠の空き状況



によってガラス専門機関や個人工房などに就職するケースが多く、ガラス以外の分野への就職率は少ないようである。

- ガラス関係は就職先が少なく、止むを得ずアルバイトをしている卒業生も多いと思われる。できる限りの就職情報提供は重要である。
- 特に問題はありません。
- 就職率の動向は、あまり重要とは思われないが、卒業後の人生設計のアドバイスが大切である。
- 特殊性の高い分野の教育機関であることから、就職率の向上といった概念は必ずしも当てはまらなないと考えるが、学生に対する就職支援は適切に行われているものとする。

#### 【4 - 18】 退学率の低減が図られているか

- 開校以来、現在に至るまで退学率が少ないと思われる。また学生の入学の満足度も高い。
- 概ね図られていると考えられるが、近年、諸事情、社会的変化に精神的弱さが出る学生は多くなっている。  
  
できる限りの対処を行い、医療関係の対処が必要な場合は迅速に対応すべきである。
- 学校側から「専門的な知識と技術」の取得が、長い人生行路の中でどのような目標に向かっていくか、明確に指導していく必要があるのではないか。
- 精神的なケアを図ることが重要である。

- 退学率の低減に向けた取り組みが行われている。

#### 【4 - 19】 卒業生・在学生の社会的な活躍、評価を把握しているか

- 公式HPには「卒業生のみなさんへ」という項目を設け、連絡先や学校公式HPとのリンクを促し、就職募集状況の提供や意見交換の場としている。

- 把握されている。

これらは学生のモチベーションにも良い影響を与え、【4-18】への効果も期待できる。

- TIGAの実績は素晴らしいものがあると思う。最近の応募者数の減少を見ると、学生募集のための全国の学校周りをしてはいかがだろうか。

- 卒業生との情報共有を図ることが大切である。

- 卒業生・在学生の社会的な活躍、評価は把握されている。

## 5. 学生支援

#### 【5 - 20】 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

- 整備され、機能している。

- 概ね、有効に機能していると考えられる。

ガラス関係の就職先が少ない中での就職、進路指導は重要な業務である。

- 特に問題はありません。

- 個人に合った指導が必要である。

- 就職・進学指導に向けた取り組みがなされている。

#### 【5 - 21】 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

- 日常の生活面から進路まで個別相談の機会を設け対応されている。

学生アンケートによると「親身に対応してくれる」という意見が多い。

- 概ね、有効に機能していると考えられる。

学生個人では解決できないことは多い。制作活動だけでなく学校生活についても、面談によって糸口が見つかる場合も少なくないので、確実にフォロー願いたい。

- 特に問題はありません。

- いつでも相談できる体制確保が重要である。

- 学生相談に関する体制は整備されている。

## 【5 - 22】学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

- 修学支援新制度として給付型奨学金の支給や、授業料及び入学金の減免措置が整備されている。以下のことが公式HP上で公表されている。

「大学等における修学の支援に関する法律の公布・施行により、令和2年度以降に機関要件の確認を受けた学校に入学する新入生や在学学生を対象に日本学生支援機構が実施する給付型奨学金の支給や、授業料及び入学金の減免措置が行われることになり、現在、本校の造形科においてこれらの支援の対象機関として富山市長から機関要件の確認を受けている。」

- 有効に機能している。

2年間、4年間の修学を終えられるように、奨学金や授業料減免制度を堅持願いたい。

- 特に問題はありません。
- 公立ということもあり、経済的支援は充実していると思われる。
- 学生の経済的側面に対する支援が整備されており、相談機能も有効に機能している。

**【5 - 23】 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか**

- 定期診断が行われるなど、有効に機能している。
- 概ね、有効に機能していると考えられる。  
心身共に健康を維持するために各所との連携、ケアは重要である。
- 日本海側の冬の暗さは、太平洋側で育った人間にとってはちょっと負担かも知れない。かつてバウハウスがお祭りに力を入れたようですが、飲み会や乱痴気騒ぎでなく、モノを作る人間にとって心を開放できるようなイベントを考えてもいいのではないか（音楽祭や演劇祭、ダンスなど）。
- ほとんどが一人暮らしと思われるので、健康管理に留意する必要がある。
- 学生の健康管理が適切に行われている。

**【5 - 24】 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか**

- 課外活動支援に対する要望自体がレアケースではないか？  
この事案が出た時には教職員、学生とが十分に連携して対処願いたい。

- 新たな作品を生むためには、気分転換も必要であり、課外活動は一つの方法と思われる。
- 特殊性の高い分野の教育機関であり、支援体制の必要性を判断することには、困難が伴うものと考えられる。

#### **【5 - 25】 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか**

- 敷地内に隣接した学生宿舎や近隣に民間アパートがあり、情報提供を行なっている。
- 行われている。  
学生寮が整備されてきたことにより、住居の心配が軽減されてきている。
- 特に問題はありません。
- 隣接して宿舎が併設されるなど大いに評価できる。
- 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われている。

#### **【5 - 26】 保護者と適切に連携しているか**

- 必要に応じ、適切な連携がされている。
- 連携されている。  
保護者とのコミュニケーションは必要である。
- 特に問題はありません。
- 若い人もいることから、連絡を取れるようにしておく必要がある。
- 保護者と適切に連携している。

#### **【5 - 27】 卒業生への支援体制はあるか**

- 年間行事への参加の呼びかけや公募展の情報の提供も行われている。  
卒業後の研究生制度も設けられている。
- 概ね支援体制は整っている。  
卒業後の活動は人によって様々であるが、情報提供、研究支援体制は励み、刺激となり、制作活動につながる。
- 特に問題はありません。
- 常に情報共有に心がける。
- 卒業生への支援体制は設けられている。

#### 【5 - 28】 留学支援や海外との提携による国際教育交流の体制はあるか

- 国際教育交流体制が整備されている。  
海外のガラス関係機関との提携により海外留学制度を設けている。  
希望者には情報を提供し、対応が行われている。
- 体制は整っている。  
海外での経験は制作に大きく影響を与え、作家としての成長に繋がり、推奨していくことは極めて重要である。
- 特に問題はありません。
- 海外との交流は重要である。
- 留学支援や海外との提携による国際教育交流の体制は設けられている。

## 6. 教育環境

**【6 - 29】 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか**

- 開校後、増築された施設もあり制作するための十分な施設・設備が整えられていると思うが、開校して30年余り経過しているため設備・機器などの故障もあるようである。

学生アンケートでは、ほとんどの学生が、施設設備が良く整備されていると答えている。

- 整備されている。

施設、設備の点検は授業進行に重要である。気持ち良い環境での制作のために、学生への清掃指導も大切である。

- 10年に一度くらいは、TIGAにしかない「独自の」「新しい」専門的知識や「技能」を掲げて、設備なども入れ替えて応募者を募ったほうがいいのではないか。

- 計画的にメンテナンス・修繕を行う必要がある。

- 施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう設置されている。

**【6 - 30】 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか**

- 学外学習：美術館や展覧会鑑賞。工房や会社訪問などが行われている。

海外研修：海外のガラス関係機関との提携によって交換留学制度やワークショップ参加ができるよう情報提供や相談対応が行われている。

- 整備されている。

集中的に学べる留学は新しい発想につながる。また、その成果発表の機会が与えられるのはより重要なことである。

- 富山市内に立派な県美とガラス美術館があるので、もっと頻繁に活用してはいかがだろうか。海外研修については、授業料の負担についてもう少し市の予算を付けていただくことはできないのだろうか。
- 様々な教育体制がなされていると思われる。
- 学外実習、海外研修について十分な教育体制を整備されている。

#### 【6 - 31】 防災に対する体制は整備されているか

- 市消防局の指導のもと災避難訓練を実施されている。

また、火気を扱うため、日常における危機管理・安全管理体制が十分に整備されている。

- 整備されている。  
事故防止のためにも、日頃から徹底するべきである。
- 特に問題はありません。
- 火・ガスを扱うことから防災には十分注意が必要である。
- 防災に対する体制は整備されている。

## 7. 学生の募集と受け入れ

#### 【7 - 32】 学生募集活動は、適正に行われているか

- 適正に行われている。



学校案内パンフレットおよび公式HPなどで募集案内告知がされている。

また、高校や専門学校、大学への入学募集案内・PRポスターや学校案内パンフレットの配布、美術館系雑誌への広告掲載などで情報発信されている。

○ 適正に行われている。

募集活動は多岐にわたるアプローチである。特にオープンキャンパスを行うことは研究所の特色を知るために効果的である。

○ 入学者募集のための、「学校回り」というのをやってみたらどうでしょうか。データを送るのと、先生が直接言って話をするのとでは、全然効果が違うように思いますが。

○ 応募数が減っており、さらなる募集活動を強化する必要がある。

○ 学生募集活動は、適正に行われている。

#### 【7 - 33】 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか

○ 学校案内パンフレットや公式HPなどで卒業生の進路および活動、受賞歴などを掲載している。

○ 伝えられている。

卒業生の活動は入学を考える学生に励み、目標となる。

○ 特に問題はありません。

○ 卒業生の活動等を積極的に周知する。

○ 学生募集において教育成果は正確に伝えられている。

#### 【7 - 34】 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

- 公平な基準に基づき行われている。
- 適正、且つ公平に行われている。
- 特に問題はありません。
- 適正・公正になされていると思われる。
- 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている。

#### 【7 - 35】学納金は妥当なものとなっているか

- 平成23年度(2011年)以降は、改定されていない。妥当なものと思われる。  
将来的には時代に沿った見直しの可能性もあるだろう。
- 他の推移を見ながらの改定は必要かもしれない。
- 特に問題はありません。
- 他の状況を把握し、適切に対応する必要がある。
- 学納金は妥当なものとなっている。

## 8. 法令等の遵守

#### 【8 - 36】法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

- 適正な運営がなされている。
- なされている。
- 概ねなされていると思われる。
- 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。

#### 【8 - 37】個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

- 一般社会同様に厳重な個人情報保護の対策がとられている。

- とられている。
- 個人情報保護は重要なことであり、十分留意する必要がある。
- 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。

#### 【8 - 38】 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

- 学校自己点検・自己評価を実施され、問題点の改善に積極的に努められている。
- 努められている。

体系的に点検、評価、改善を続けることによって、学校運営の向上につながる。

- 概ねなされていると思われる。
- 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善が行われている。

#### 【8 - 39】 自己点検・自己評価結果の公開をしているか

- 公式HP（学校案内ページ）において「学校自己評価報告書」として公開されている。
- 公開されている。
- なされている。
- 自己点検・自己評価結果は公開されている。

## 9. 社会貢献

#### 【9 - 40】 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

- 年間行事に際し、市民も参加可能な公開講座や公開制作が実施されている。
- 同時期には校内に学生の作品が展示され、鑑賞機会を設けている。

- 行われている。

どの活動も学生を成長させ、また一般市民を対象とすることで富山のガラスだけでなく、研究所を身近に感じてもらえ、生活の中にガラスを取り入れる契機にもなる。

- 様々な事業を実施し、社会貢献に努めていると思われる。
- 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献が行われている。

#### **【9 - 41】 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか**

- 概ねなされている。

研究所での活動に積極的に関わることで、ガラス文化の普及への一歩となるという自覚、また充足感も生まれると考えられる。

- 雰囲気づくりのため、ボランティア活動の事例紹介等に努める。
- 学生のボランティア活動の奨励、支援は適切に行われている。